

令和6年度

第20回 東温市・上浮穴郡中学校総合体育大会

大会プログラム

令和6年6月4日（火）

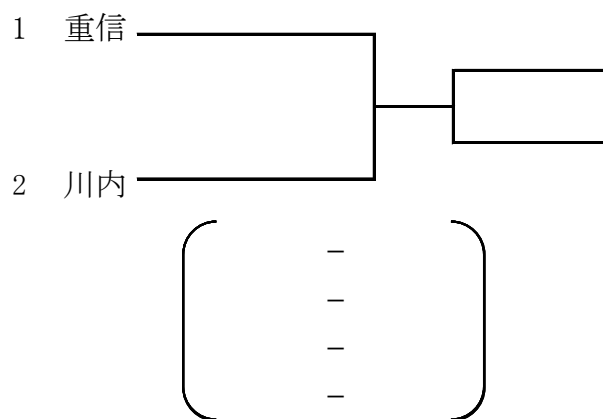
東温市学校体育会 上浮穴郡学校体育会
東温市教育委員会 久万高原町教育委員会

- | | | | | |
|---|-------|-----------------------|------|------|
| 1 | 種目名 | バスケットボール | 開場 | 8:00 |
| | | | 諸連絡 | 9:10 |
| 2 | 会場 | ツインドーム重信 | 競技開始 | 9:30 |
| 3 | 種目責任者 | ○高江 健斗 高橋 郁典 | | |
| 4 | 参加団体 | (男子) 重信 (女子) 重信・川内 | | |
| 5 | 組み合わせ | | | |

男子

重信 (推薦)

女子

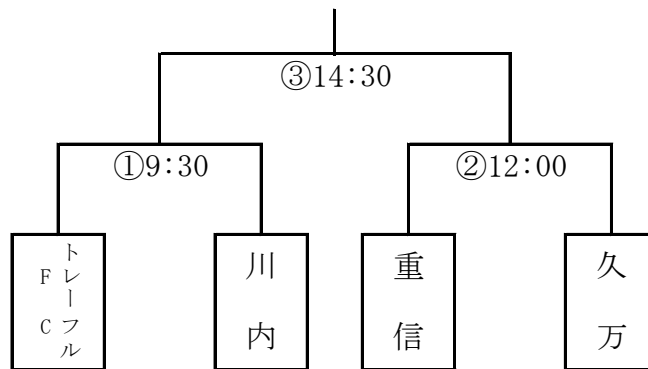


- 6 審判員 公認審判員 2名 補助員 (重信中男子バスケットボール部)

7 大会規定・諸注意

- 2017～ (公財) 日本バスケットボール協会規則による。
- 試合球は、(公財) 日本バスケットボール協会検定球、男子 7号・女子 6号の皮革製とする。
- ベンチは、組合せ番号の小さい方がオフィシャル席に向かって右側とする。
- ユニフォームの色は、組合せ番号の小さい方が白色とする。
- メンバー表は、ゲーム開始 10分前までにオフィシャル席に提出する。
- アンダーガーマントを着用する場合は、ユニフォームと同色とする。
- ベンチに入る者は、登録された選手 15名と引率責任者・コーチ・アシスタントコーチ・マネージャー各 1名とする。引率責任者・コーチは、出場校の校長・教員 (非常勤は除く)・部活動指導員とし、アシスタントコーチは校長が認めた者とする。また、マネージャーは、出場校の教員または生徒とする。ただし、教員以外の指導者の場合は、試合中に証明書を確認できるようにしておく。
- コーチとアシスタントコーチは、試合中にチーム・ベンチエリア内で両者同時に立ち続けることは認められない。
- ゾーンディフェンスは禁止とする。

- 1 種 目 名 サッカー 開場 8:00
 諸連絡 8:45
 2 会 場 東温市総合公園 競技開始 9:30
 3 種 目 責 任 者 ○大西 智也 (久万中)
 藤田 翔 (重信中)
 4 参 加 団 体 重信・川内・久万・トレーフルFC
 5 組 み 合 わ せ



| | | |
|------|--------------|---------------|
| 監督会議 | | 8:30 ~ |
| 諸注意 | | 8:45 ~ |
| 第1試合 | トレーフルFC - 川内 | 9:30 ~ 10:40 |
| 第2試合 | 重信 - 久万 | 12:00 ~ 13:10 |
| 決勝戦 | 1勝者 - 2勝者 | 14:30 ~ 15:40 |

- 6 審 判 員 公認審判員 9名、各学校の監督・コーチ 4名
 (予備審判・本部運営)

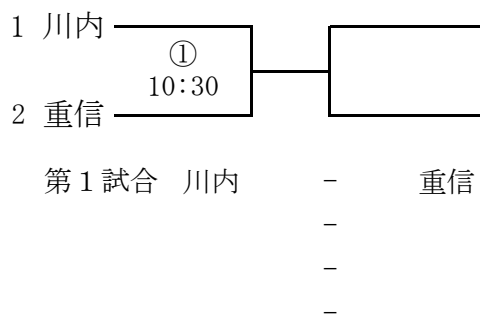
7 大会規定・諸注意

- 2024年度(公財)日本サッカー協会の「サッカー競技規則」による。また、県中体連の総合体育大会サッカー競技の要項に準ずる。
- 選手登録は18名とし、競技開始前に登録した最大7名の交代要員の中から7名までの交代が認められる。一度退いた競技者は再び出場することができない。ただし、交代の手続きは従来通りサッカー競技規則第3条に則って行う。
- 試合球は、公認球(5号)とし、競技規則第2条に適合するものとする。
- 本大会において退場を命じられた選手は、次の試合に出場できない。違反行為の内容によっては、大会競技委員会(規律委員会に代わるもの)でそれ以後の処置について決定する。
- 試合時間は、60分(30分-10分-30分)とする。勝敗が決しないときは、10分間(5分ハーフ)延長し、なお決しないときは、PK方式によって勝敗を決する。
- 天候によっては、飲水タイムまたは、クーリング・ブレイクを設けることがある。ただしその決定は、大会競技委員会で行うものとする。その他細部については、当日監督会議で決定する。
- ユニフォームを必ず持参すること。(2着以上が望ましい。)
- 審判員と同一または類似色のみのユニフォームのシャツを用いることはできない。ゴールキーパーについても同様である。
- 雷発生の危険性が高い場合は、直ちに試合を中断し、その後の処置については、大会本部で決定する。

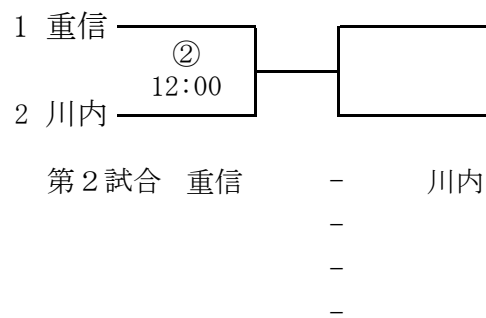
- 1 種 目 名 バレーボール 開場 9:00
緒注意 10:15
- 2 会 場 重信中学校 競技開始 10:30
- 3 種 目 責 任 者 ○渡部 真平
寺岡万名登
- 4 参 加 校 (男子) 重信・川内
(女子) 重信・川内

5 組 み 合 わ せ

男子



女子



6 審 判 員 公認審判員3名

7 大会規定・諸注意

- 2024年度(公財)日本バレーボール協会制定6人制競技規則及び競技要項に準ずる。
※リベロプレーヤーの登録は2名以内とする。
- 男子はミカサ、女子はモルテンを使用する。
- 男女ともトーナメント戦で行う。
- 試合は、設定時間で行う。第1試合が延びた場合、第1試合終了約30分後に第2試合を行う。
- 試合球(検定球、人工皮革カラーボール)は、本大会主催者側で用意する。
- ライン・アップ・シートは、公式練習時に審判に提出する。
- ベンチ内には登録されたもの以外は入らない。
- 線審・得点(6名)は、男子の試合は女子が、女子の試合は男子が担当する。(各校3名ずつ)
- 試合前後の握手は行わない。試合開始(終了)の吹笛後、アタックラインで挨拶をする。
- 昼食時間は特別に設けない。上履きと下履きの区別をつけること。
- その他、細部については、当日各チームの顧問の話し合いで決定する。

1 種 目 名 ソフトテニス 開場 8:00
 諸注意 9:00
 2 会 場 久万公園テニスコート 競技開始 9:15

3 種 目 責 任 者 ○吉村 優輝
 村上 嵩

4 参 加 団 体 (男子) 重信 (個人戦のみ)
 (女子) 重信・川内・久万

5 組 み 合 わ せ

男子

女子

重信 (推薦)

| | 久万 | 重信 | 川内 | 順位 |
|---|----|----|----|----|
| 1 | 久万 | | | |
| 2 | 重信 | | | |
| 3 | 川内 | | | |

第1試合 久万 — 重信
 第2試合 重信 — 川内
 第3試合 久万 — 川内

6 審 判 員 相互あるいは、敗者による審判とする。

7 大会規定・諸注意

共通 ①(財)日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」に準じて行う。

②すべて7ゲームマッチとする。

③審判は、正審・副審ともに、選手 (敗者審判) が行う。

④試合球は公認球 (アカエム・白) とする。

⑤服装・ゼッケンなどは、県大会規定に準ずる。

団体 ①女子はリーグ戦で行い、優勝校が県大会に出場できる。

②相互審判を基本とする。

個人 ①男子は8ペアのリーグ戦、決勝トーナメント戦を行う。女子は12ペアのトーナメント戦を行い、男女とも上位4ペアが県大会に出場できる。

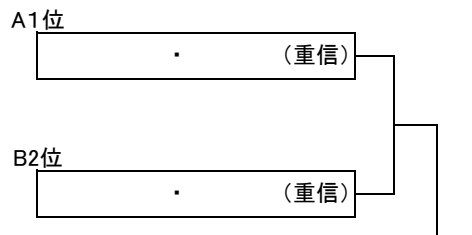
令和6年度東温市上浮穴郡中学校総合体育大会 ソフトテニス

女子団体

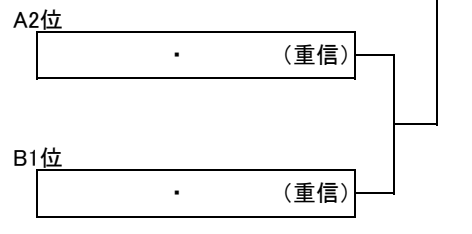
| | 1 | 2 | 3 | 勝敗 | 順位 |
|------|---|---|---|----|----|
| 1 久万 | | | | | |
| 2 重信 | | | | | |
| 3 川内 | | | | | |

男子個人

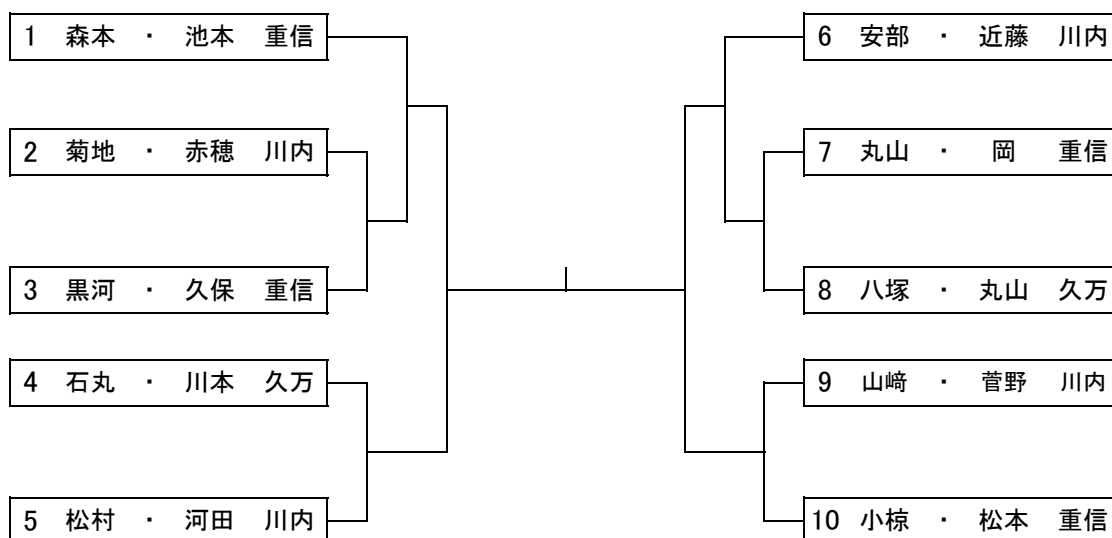
| 男子 Aリーグ | 1 | 2 | 3 | 4 | 勝敗 | 順位 |
|----------------|---|---|---|---|----|----|
| 1 石本 ・ 上田 (重信) | | | | | | |
| 2 伊藤 ・ 笹田 (重信) | | | | | | |
| 3 山本 ・ 越智 (重信) | | | | | | |
| 4 野島 ・ 大西 (重信) | | | | | | |



| 男子 Bリーグ | 1 | 2 | 3 | 4 | 勝敗 | 順位 |
|----------------|---|---|---|---|----|----|
| 5 山川 ・ 村上 (重信) | | | | | | |
| 6 堀内 ・ 渡部 (重信) | | | | | | |
| 7 森 ・ 宮崎 (重信) | | | | | | |
| 8 鐵宮 ・ 平田 (重信) | | | | | | |



女子個人



1 種 目 名 卓 球

2 会 場 美川中学校

3 種 目 責 任 者 ○澤木 一敏
池内 浩平

| | 時刻 |
|------|------|
| 開場 | 8:30 |
| 諸連絡 | 9:00 |
| 競技開始 | 9:15 |

4 参 加 団 体 (男子) 重信・川内・美川
(女子) 重信・美川

5 組 み 合 わ せ

男子

1 重信 (推薦)

女子

1 重信 (推薦)

6 審 判 員 選手の相互審判、敗者審判

7 大会規定・諸注意

○ ルールは日本卓球協会規定による。

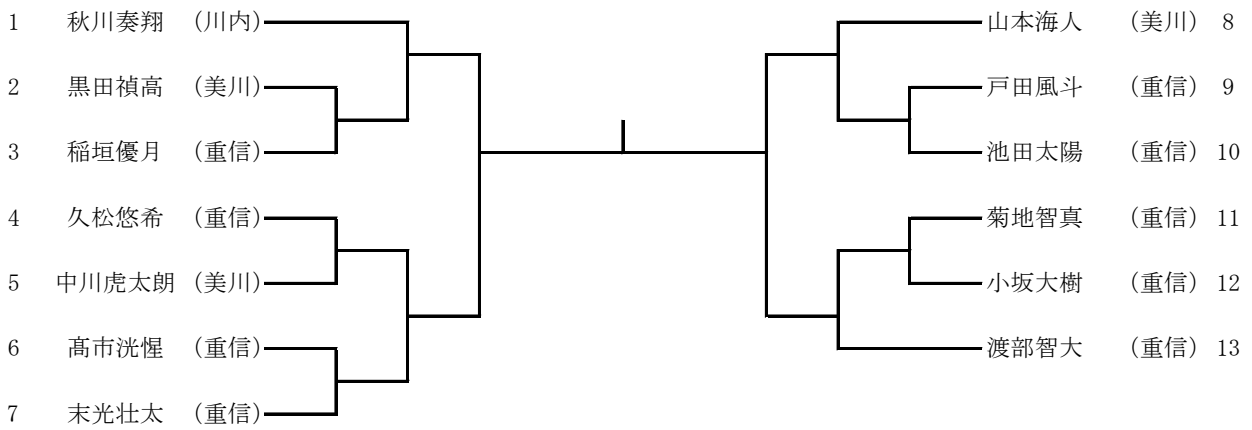
○ サーブは16cm以上あげる

※ ボール・ラケット・フリーハンドの位置等、ルールブックを参照

○ ベンチには選手、監督、アドバイザー以外は入れない。

○ タイムアウトは、適用する。個人戦は選手に優先権がある。

シングルス



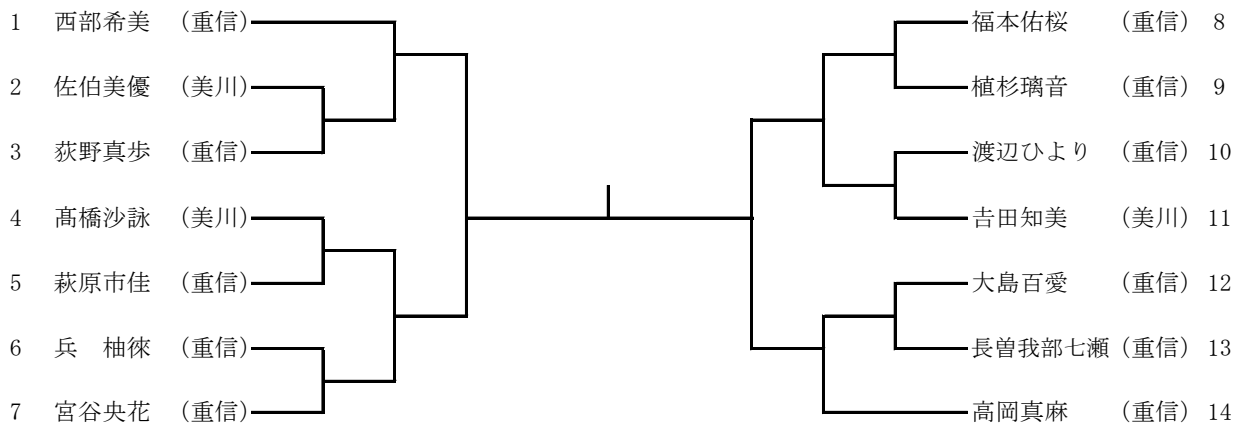
| | |
|-----|--|
| 第1位 | |
| 第2位 | |
| 第3位 | |
| 第3位 | |

ダブルス

| | | 柳井・和田 | 行重・溝田 | 山本・大北 | 勝敗 | 順位 |
|---|-------------------|-------|-------|-------|----|----|
| 1 | 柳井 大 和田悠希 (重信) | | | | | |
| 2 | 行重美志 溝田脩也 (重信) | | | | | |
| 3 | 山本杏介 大北凌万 (重信) | | | | | |

| | |
|-----|--|
| 第1位 | |
| 第2位 | |

シングルス



| | |
|-----|--|
| 第1位 | |
| 第2位 | |
| 第3位 | |
| 第3位 | |

- 1 種 目 名 バドミントン 開場 8:00
諸注意 9:00
- 2 会 場 川内中学校 競技開始 9:10
- 3 種 目 責 任 者 ○田坂 優佳
片岡 大輔
- 4 参 加 団 体 (男子) 川内・久万・美川
(女子) 川内・久万・美川・重信・川内JBC
- 5 組 み 合 わ せ

男子

久万 — 川内

女子

| | 久万 | 川内 | 美川 | 順位 |
|---|----|----|----|----|
| 1 | 久万 | ① | | |
| 2 | 川内 | | | |
| 3 | 美川 | | | |

第1試合 久万 — 川内

第1試合 久万 — 川内

第2試合 ① 敗者 — 美川

第3試合 ① 勝者 — 美川

6 審 判 員 選手の敗者審判

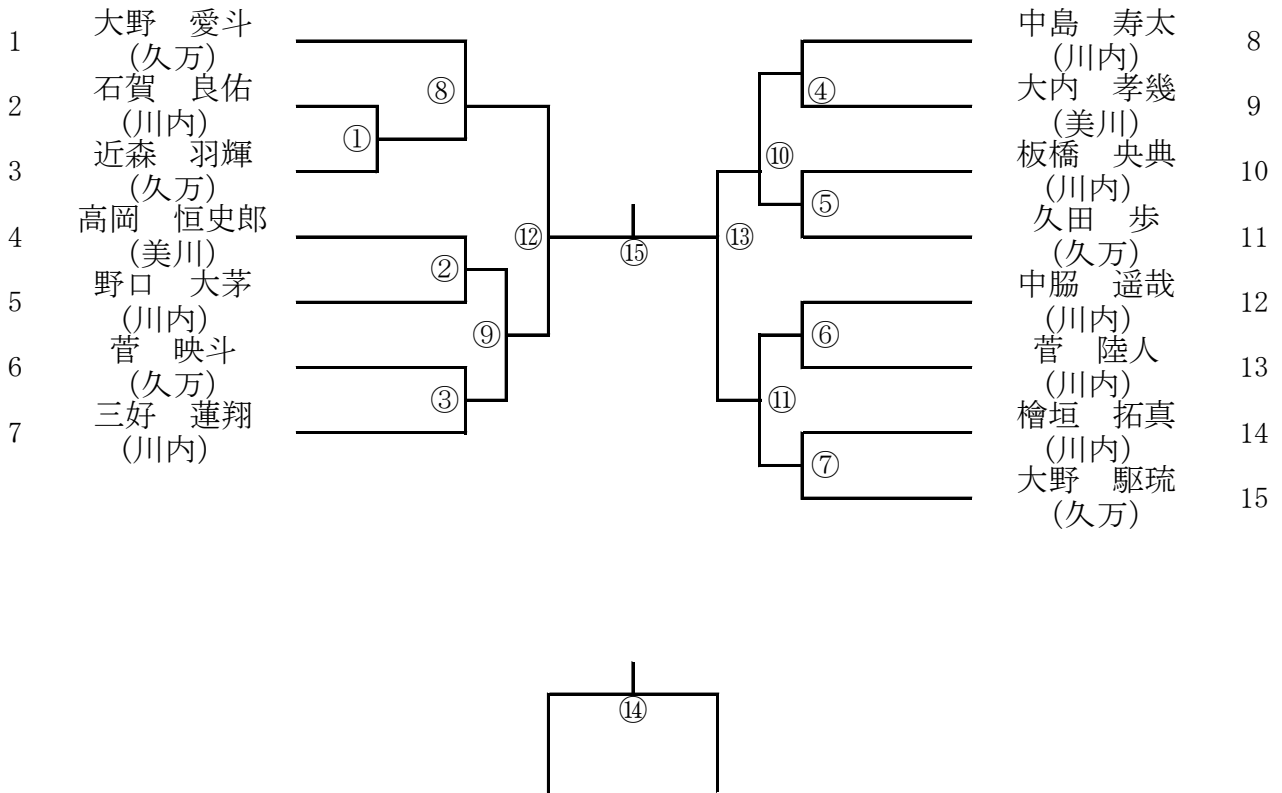
7 大会規定・諸注意

- 現行の（公財）日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規定並びに公認審判規定に則って行う。
 - ◎ 各ゲーム間に120秒を超えないインターバルを取ることができる。
 - ◎ 応援は2階から行う。1階フロアに入れるのは選手・監督・コーチ・審判のみ。
 - ◎ コート以外での羽を打っての練習を禁止する。
 - ◎ シャトルは日本バドミントン協会2種検定球（3番）を使用する。
 - ◎ 試合中のストロボ撮影は認めない。
 - ◎ 昼食時間を指定する。各自で取る。
 - ◎ 敷地内禁煙。
 - ◎ ゴミは持ち帰る。

(個人戦シングルス)

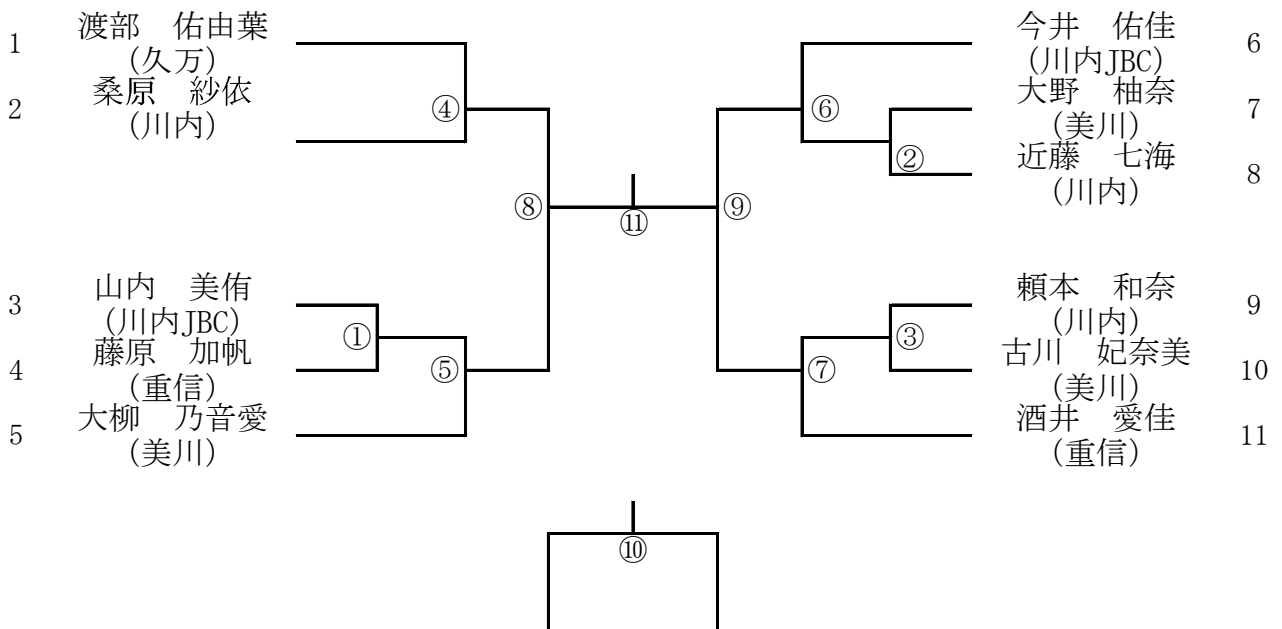
男子

- 第1位
- 第2位
- 第3位
- 第4位



女子

- 第1位
- 第2位
- 第3位
- 第4位



- 1 種 目 名 剣 道 開場 8:00
諸注意 9:00
- 2 会 場 東温市トレーニングセンター 競技開始 9:15
- 3 種 目 責 任 者 ○中島 義人
青野 藤壽
- 4 参 加 団 体 (男子) 重信・川内・久万
(女子) 重信・川内・久万

5 組 み 合 わ せ

男子

| | 重信 | 川内 | 久万 | 順位 |
|---|----|----|----|----|
| 1 | 重信 | | | |
| 2 | 川内 | | | |
| 3 | 久万 | | | |

- 第1試合 重信 - 川内
第2試合 久万 - 1敗者
第3試合 久万 - 1勝者

女子

| | 川内 | 重信 | 久万 | 順位 |
|---|----|----|----|----|
| 1 | 川内 | | | |
| 2 | 重信 | | | |
| 3 | 久万 | | | |

- 第1試合 川内 - 重信
第2試合 久万 - 1敗者
第3試合 久万 - 1勝者

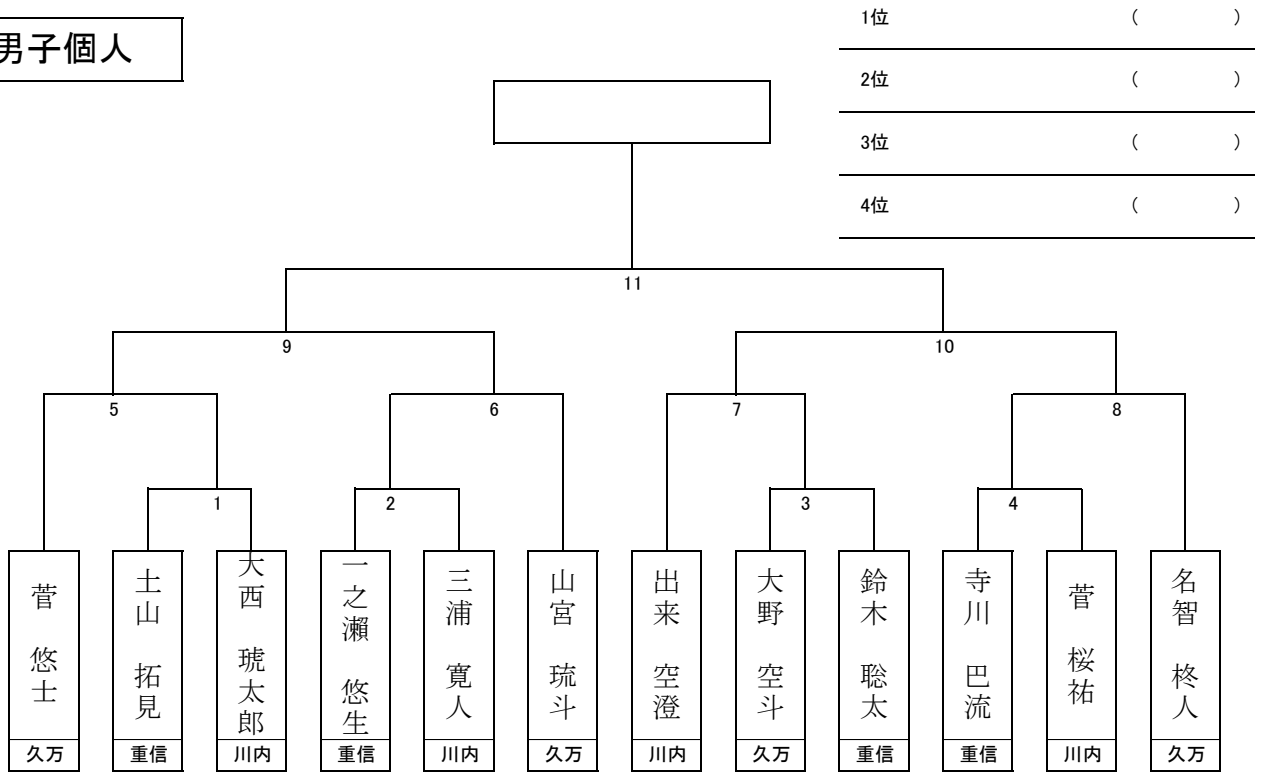
6 審 判 員 公認審判員7名

7 大会規定・諸注意

- 全日本剣道連盟試合・審判規則、同細則及び中体連剣道競技部規定による。
- 選手は、試合会場ではマスクを必ず着用する。また、試合ではマウスガードを着用する。
- 竹刀検量を行わない。各顧問が必ず確認すること。
- 試合時間は3分間とする。
- 団体戦は、4名の場合は次鋒をあける。3名の場合は、次鋒と副将をあける。
- 勝敗が決しない場合、団体戦は引き分け。個人戦は勝敗が決するまで2分単位で延長戦を行う。その場合、延長3回終了後、体調を確認し、休憩が必要な場合は5分間の休憩をとる。そのまま続けた場合は、5回の延長で休憩をとる。その後は3回実施ごとに休憩を5分間とる。
- 団体戦において、勝者数、取得本数ともに同数の場合は代表決定戦を行う。代表者戦の延長戦については個人試合に準ずる。
- サポーターなど（足袋・テーピングを含む）の使用については、医療上必要と認める場合に限り使用を認める。また、肘や膝などにつける物を足に使用したり、ゴムや革及びすべり止めを底にはった物等の使用は禁止する。
- 「つばぜり合い」については「全日本剣道連盟暫定的試合規則」によって行う。
- ★ 選手はフェイスシールドまたは面マスクを着用すること。

剣道男女個人戦

男子個人



女子個人

